

第39回木曽岬輪中駅伝大会 開催

令和7年2月2日(日)、体育協会主催による「第39回木曽岬輪中駅伝大会」が開催された。当日は雨が降り、駅伝日和とは言えない状況だったが、今大会には、町内外から一般の部14チーム、中学生男子の部2チーム、中学生女子の部2チーム、スポ少の部1チームの全19チームが参加し、木曽岬町役場から北部クリーンセンター前までの往復2kmのコースを各チーム6名の走者がタスキを繋ぎ競いあった。

開会式では選手を代表して木曽岬中学校野球部の服部哲侍さんから「地域への感謝・誇りを胸に、仲間と協力し、精一杯走りぬくことを誓います!」と力強い宣誓があり、その後のレースではタスキリレーの度に観客から大きな拍手や声援が送られるなど活気あふれる大会となった。主な結果は次のとおり。

◆部門別総合成績

部門	優勝	準優勝	第3位
一般の部	陽だまりRC	日本ハム食品チームA	伊勢湾岸クリニックA
中学生男子の部	野球部	木曽岬 Baseball	—
中学生女子の部	バレーボール部	ソフトテニス部	—
スポーツ少年団の部	木曽岬ミニバスケットボールクラブ	—	—



中学生と町議会議員とのふるさと懇談会 開催

令和7年2月3日(月)、中学校の防災多目的ホールにて「中学生と町議会議員とのふるさと懇談会」を開催した。この取り組みは、平成31年2月に第1回が行われて以降、途中新型コロナウイルス感染症の影響による中止を経て、今回で4回目の開催となった。

当日は、議員の皆さんから生徒たちに向けて、わかりやすい事例を交えながら、木曽岬町と国の政治と選挙制度の違いについての説明があり、自分たちの代表を選ぶ選挙や一票の大切さについてお話しいただいた。その後、生徒が8つのグループに分かれ、各グループに1名ずつ議員の方々が入り、進行役をしながら意見交流を行った。懇談会が進むにつれて、様々な意見が生徒から出され、町づくりに対する関心の高さが見られた。生徒たちは、今回の貴重な経験を通して、また一つ「ふるさと木曽岬」について考え、愛着を深めることができた。



木曽岬小 文化資料館見学 実施

令和7年2月3日（月）、小学校3年生が文化資料館を見学した。小学校3年生は社会科で「昔の暮らし」について学習しており、その一環として毎年この時期に文化資料館への見学を実施している。中には、初めて文化資料館を訪れたという児童もあり、館内の展示物に興味津々の様子であった。地域在住の方にゲストティーチャーを依頼し、昔の暮らしについて説明していただいた。

子どもたちは、展示品や昔の暮らしの様子を再現しているジオラマを目にしなが、今と昔の暮らしの違いについて疑問や感想を述べ合っていた。また、ゲストティーチャーに積極的に質問したり熱心にメモをとったりする姿も見られた。

木曽岬町の昔の生活を知ること、これまでの学習が一層深まる貴重な機会となった。



木曽岬小学校4年生 出前授業 実施

令和7年2月4日（火）、小学4年生を対象に、木曽岬町の堤防護岸工事を行っている会社の方々から、木曽岬町を囲む堤防の護岸工事現場の見学と工事の説明をしていただく出前授業が行われた。当日は、工事現場でこれから埋める矢板に好きな絵をかかせていただき良い思い出となった。見学後、学校に戻り、地震・高潮対策工事の説明に加えて、液状化の仕組みについて実験を披露していただき、子どもたちは具体的なイメージを持つことができた。



木曽岬町子ども議会 開催

令和7年2月6日（木）、小学校6年生児童による「木曽岬町子ども議会」を開催した。この取り組みは平成19年2月に第1回が行われ、今回で19回目を迎えた。当日は、6年生の児童が4題の質問内容を事前に考え、一般質問に臨んだ。議長も児童2名が交替で務め、始めは緊張した様子もみえたが、スムーズな議事進行を行うことができ、議会運営の理解につながった。それぞれの質問に対して、役場の各担当課長より丁寧な答弁があり、子どもたちが真剣な眼差しで聞き入る姿が見られ、町のことや学校生活のことを一生懸命考えていこうという思いが伝わってきた。



子ども議会の質問項目

- ・質問1「野良猫を減らす対策について」
- ・質問3「大人も学べる日本語教室について」

<6年A組>

- ・質問2「熱中症対策について」
- ・質問4「トマト祭りについて」

木曽岬産「新海苔」を給食で提供

令和7年2月7日(金)、こども園・小中学校の子どもたちに、給食メニュー「サラダまき」として、木曽岬産「新海苔」を提供いただいた。この「新海苔」は、木曽岬町の海苔・シジミ操業者で組織する「水産業振興部会」より、海苔の日(2月6日)にちなんだ寄贈いただいたもので、新海苔がとれるこの時期に、木曽岬町の特産品である「海苔」に親しんでもらいたいとの願いが込められている。子どもたちは、板海苔を手に取り、新海苔の風味とパリパリ感を味わっていた。



令和7年 第1回教育委員会 開催

令和7年2月7日(金) 役場4階会議室にて開催した。概要は、次のとおり。

<審議事項>

- 議案第1号 木曽岬町立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について
- 議案第2号 令和7年度卒業式、令和8年度入学式の日程について

<協議事項>

- 令和7年度木曽岬町こども園・学校教育基本方針について

<報告事項>

- 令和6年度 全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果について
- 令和6年度 英検チャレンジ事業の実績報告について
- 令和6年度 郷土学習(子ども議会・ふるさと懇談会)の実施について
- 令和7年度の中学校部活動について
- 教育委員会実施事業記録について



小学校6年生を送る会 実施

令和7年2月12日(水)、町体育館にて「6年生を送る会」が行われた。体育館のフロアに見童が一堂に会し、保護者の参観も可能として実施した。限られた時間の中で、在校生は6年生への感謝、6年生からは在校生に伝えたい思いなど、各学年・学級で意見を出し合い内容を考え、参加者に届くように、歌や呼びかけなどの練習をがんばって取り組んできた。

当日は、一人ひとりが「ありがとう」の気持ちを、心を込めて伝えることができた。



第18回 美し国三重市町対抗駅伝 開催

令和7年2月16日(日)、三重県庁前(津市)～三重交通Gスポーツの杜伊勢(伊勢市)10区間42.195kmをコースとし、市町対抗で行われる“第18回美し国三重市町対抗駅伝”が開催された。前日からの雨もやみ、風もない良いコンディションの中、選手たちはチームカラーの赤・青・黄で配色したユニホームを着用し、沿道の声援をうけながら懸命にタスキをつないだ。木曽岬町チームは総合の部において、オープン参加チームを除く全29チーム中26位(2時間43分16秒)という結果で、全区間を走りきることができた。

大会当日のスタートセレモニーでは、木曽岬町と伊勢市が選手宣誓を任され、本町からは友好レースに出場する中学1年生の伊藤大誠さんが、元気に宣誓を行い選手の士気を高めた。また、ゴール地点となる伊勢市の陸上競技場には、町長、副町長や議員の皆さまをはじめ、町民の皆さんやサポートスタッフが応援に駆けつけ、選手を勇気づけるエールを送っていた。



令和7年 第2回教育委員会 開催

令和7年2月21日(金) 役場4階会議室にて開催した。概要は、次のとおり。

<審議事項>

- 議案第3号 令和6年度末 小・中学校教職員人事異動の内申について
- 議案第4号 木曽岬町立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について

<説明事項>

- 令和7年度の教育課題に対する取り組みについて

<報告事項>

- 木曽岬町教育基本方針に係る重点項目「オリジナル5プラス1」の取組状況の総括評価について
- 外国人児童生徒の受け入れに関する基準について
- 令和7年度 児童生徒数について
- 教育委員会実施事業記録について

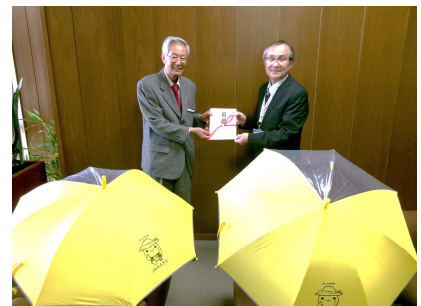


J Aみえきたより「児童用交通安全傘」が贈呈

令和7年2月21日(金)、役場2階応接室で、JAみえきた今村専務理事より伊藤教育長に贈呈された。

JAみえきたでは、昨年度に引き続き、地域貢献活動の一環として、地域の未来を担う新入学児童が交通事故に遭わず、安全に毎日の通学ができるように願い、「児童用交通安全傘」を制作し、管内3市5町に計4,900本が贈呈されており、来年以降も継続して実施を予定している。

本町でも、小学校を通じて、令和7年度入学予定の新1年生に配布を予定している。



スポーツ少年団 新体力テスト実施

令和7年2月23日（日・祝）、木曽岬町スポーツ少年団本部による新体力テストが実施された。町体育館及び小学校校庭を会場に、50m走・ソフトボール投げ・反復横とび・握力・長座体前屈・20mシャトルラン・上体起こし・立ち幅とびの8つの種目を団ごとに測定した。子どもたちは、測定終了後、友達と自分の記録を見比べながら一喜一憂していた。

